

## ご入学、ご進級おめでとうございます

学校長 杉森 伸吉

春爛漫のうらかな武蔵野の自然の中で、菊の園も創立82周年、国際学級(ゆり組)創立51周年の新学期を迎えました。あらたに菊の子となられた新入生とご家族の皆様、また進級し新たな学年を迎えた皆さん、まことに  
おめでとうございます。

おかげさまで2年間にわたる校長1期目を無事に終え、2期目を迎えます。今まで同様、子どもたちと保護者、  
教職員の笑顔のために、励ませていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年のPTA講演会でお話させていただきましたように、OECD(経済協力開発機構)の教育局と加盟各国が  
2030年以降の世の中を生きる子どもたちに、どんな教育が必要なのか、さまざまな研究や議論を重ねています。  
その中で、今後の世界は、より変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の高まるVUCA世界(ヴーカ・ワールド)に  
なるのは確実だろうと予測しています。新型コロナウイルスは、さまざまな状況が激しく変動し、いろいろなこ  
とが不確実であり、複雑な様相を呈するとともに、さまざまな情報もよくわかっていないことが多く、曖昧とい  
うVUCA世界を象徴しています。まさにこうした世の中に強い子どもたちを育成するというきくの園の理念が、  
ますます生きてくる時代になるかと思えます。

本校が創立当初より大切にまいりました、素朴で泥臭いが、骨太でたくましい国際人の養成という理念は、  
充実した学校行事、体験活動の重視、主体的で探究的な学び、異学年での生活団活動など、さまざまな特色ある  
カリキュラムに反映されており、大きな成果を挙げて、社会的にも高く評価されてきたといえるでしょう。3月  
に卒業した6年生の皆さんも、オペレッタの前の週にインフルエンザで学年封鎖になったり、卒業式もコロナ対  
応になったりと、さまざまな変動を経験しつつも、非常に落ち着いて、しっかりと対応する姿を見て、大変頼も  
しく思いました。

今回の新型コロナウイルス問題に象徴されるように、物事の変動性が高く、不確実で複雑かつ曖昧な事態は、  
さまざまなリスクが高く、不安を喚起しやすい事態でもあります。こうしたリスクに対しては、やみくもに恐れ  
過ぎず、楽観視し過ぎず、いわば「正しく恐れる」ことも大切です。一般的には、「ここは危ない」とみんなが思  
う部分では、みんなが気を付けるので事故が起こりにくくなり、「ここは大丈夫」と油断している部分で事故が起  
きやすいものです。また、「東京都で何人感染者が増えた」という報道も、まずは確率で考えることが必要で、  
1200万人の都民の中で何パーセントなのか?他のおなじみになっているリスク(自動車事故やインフルエンザ  
など)に比べて、重症化率や致死率はどれくらいなのか、横の比較も必要です。リスク認知を敏感にさせる要因  
には、未知性(新奇性)、恐ろしさ、統制不可能性、想像可能性(想像しやすいリスクほど、高い確率で起こると錯  
覚されやすい)などがあります。情報を慎重に吟味し、冷静に考えることも必要になります。

これからも、本校の伝統を生かしつつも、国際バカロレアの初等教育版であるPYPも検討校から候補校にス  
テップアップするなど、さらなる国際化も視野に入れ、教職員、保護者の皆様、在校生や卒業生、近隣地域など  
の皆様と、「チーム菊の園」としてよりよい教育研究活動に励みたいと思います。すべての保護者・関係者の皆様  
が、すべての子どもを、ご自分のお子さんと同様な目線で大切にすお気持ちで、どうぞよろしくお願い申し上  
げます。

本年も、自然に「きれいな言葉」を使える思いやりがあり清い心の子どもづくりなどを、具体的な目標のひと  
つに掲げております。ご家庭の皆様と協力し合えれば幸いですので、重ねてよろしくお願い申し上げます。